

にしめら 議会だより



NISHIMERA VILLAGE

2021 1月
No.160

発行：西米良村議会

活き活き教室 (村所会場)

- ◎ 年頭のごあいさつ P 2
- ◎ 12月定例会 P 2
- ◎ 第3回臨時議会 P 5
- ◎ 監査室より P 6
- ◎ 一般質問 P 7
- ◎ 国道219号改良整備要望活動 P 9



令和3年 年頭のごあいさつ

西米良村議会議長 瀨 砂 恒 光

謹んで新春のお慶びを申し上げます。村民の皆様におかれましては、それぞれの抱負を胸に、新たな年をお迎えになられたことと存じます。

日頃から村議会に対して、深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私たち7名の議員も、まもなく任期の半ばを迎えようとしています。これからも村民の皆様への付託と信頼に応え、村議会としての責務を果たしていく所存でありますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

さて、昨年はコロナに始まりコロナに終わった一年でありました。昨年12月上旬に中国・武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間

に世界中へと感染が拡がりました。幸いにして村内におきましては、村民の皆様積極的に感染防止対策に取り組んでいただき感染者は出ておりませんが、花火大会やメラリンピック等の村内各行事が軒並み中止や延期、規模を縮小しての開催となりました。未だ終息の兆しが見えない状況の中で様々な支援策や感染拡大に向けた取り組みがなされていますが、一日も早いワクチンの接種や病気の終息が待たれるところです。

一方、各地で局地的な大雨や台風による被害が相次ぎました。特に隣接する人吉や球磨郡での河川氾濫による浸水、椎葉村での山腹崩壊事故は記憶に新しいところです。本村でも7月豪雨や台風10号の影響により、山腹や道路、河川等が被災

し、公共事業で対処する復旧個所だけでも22箇所にのぼり、昨年からこうした災害復旧事業が計画的に進められています。自然災害の恐ろしさを改めて痛感させられる年でもありました。

また、アメリカ大統領選挙がありましたが、バイデン候補が勝利した要因に政権変化を希望する民意があります。行政と民意がかけ離れないように、村議会といたしましては常日頃の情報収集と現状分析に努め、村民の皆様の厚い信頼に応えるべく一層精進し、村民の皆様と共に歩む議会でありたいと存じます。

今年一年が皆様にとって、健康で幸多き年になりますことをご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

引き続きソフト事業が2件、新規ハード事業が1件。ソフト事業は、おがわ作小屋村、上米良自治公民館の植栽事業である。ハード事業は、お試し滞在施設の整備事業を計画している。

12月定例会

令和2年第4回定例会を12月4日、一日間の会期で開催した。

内容は、報告2件、条例改正など4件、補正予算6件などの審議を行い、全て原案どおり可決した。

また、一般質問は、2名の議員が行った。

一般会計補正予算の状況

歳入歳出それぞれ4億909万3千円を追加し、総額35億4千595万6千円とする。主な歳出は、令和2年7月豪雨に伴う林業用災害施設復旧費3億3千400万円、道路橋梁災害復旧費5千950万円、住民参加型むらづくりファンド事業680万円。

質疑応答

上米良玲 むらづくりファンド事業の内容と本事業に対する新型コロナウイルスの影響は？

答 継続ソフト事業が2件、新規ハード事業が1件。ソフト事業は、おがわ作小屋村、上米良自治公民館の植栽事業である。ハード事業は、お試し滞在施設の整備事業を計画している。

この様な事業については、新型コロナウイルスの影響はまだ少ないと考えるが、団体等との意見を十分に聞き進めていきたい。

上米良玲 ファンド事業に取り組んでいる事業所には宿泊業も入っており、新型コロナウイルスの影響は大きいと思う。調査して早急に対応いただきたい。

上米良玲 新たに設置されたホイホイラインの不具合が多いようだが、その改善状況は？

答 不具合については了解している。特にタブレット型がうまく機能していない箇所があると聞く。業者と各世帯を回り原因究明を含め修正を行っている。

上米良秀俊 新たなホイホイラインでは、地域内放送ができないと聞く

が？

答 グループ放送ということで可能ではあるが、現時点では役場からの放送できないとできない。今後要望が多ければ予算関係も含めて検討していきたい。



新ホイホイライン(タブレット型)



新ホイホイライン(電話機型)

い。

上米良秀俊 地域応援活動支援事業委託料の内容は？

答 新型コロナウイルス対策の一環として、地域の産物等の応援消費をしていこうと作られた新規事業である。今回は、家庭での消費拡大を目的に、ジビエ料理レシピの開発及びこれらのパンフレット作成委託料である。

上米良秀俊 林道長谷・児原線300万円、山のみち地域づくり694万5千円の増額と工事内容は？

答 長谷・児原線の増額については、早期完成の要望が叶ったものである。山のみち地域づくり交付金の増額についても早期完成に向けての県補助金である。

白石幸喜 社会福祉費の委託料(福祉資源の調

査)とは？

答 今後の福祉に関する長期総合計画と併せて村民アンケートを行うに当たり、肝心な天包荘に立ち入りができないため、専門の調査会社、コンサルタントに調査を委託するものである。

白石幸喜 児童福祉費の備品購入費200万円の減額理由は？

答 ふたば園の公用車等整備に入札残が出たため減額である。



ふたば園公用車(10人乗り)

白石幸喜 農業振興費の

中のゆず生産構造転換緊急支援事業の委託料、工事請負費、原材料費に係る増減の理由は？

答 当初計画後、県の査定協議等により各項目が補助対象外扱いとなったため減額を行い、その分をゆず団地園内作業道の整備費に組み替えたものである。

濱砂征夫 ゆず団地も中山間補助の対象に適用されたと思うが、団地内の作業道の草刈り等を共同作業として進めてはどうか？

答 広大なゆず団地を3名で守っていくとなると当然共同作業も生じると思う。ラジコン式除草機も整備しているので、実証等も含め、十分指導・助言をしながら共同作業を推進していく。

特別会計の状況

◆国民健康保険事業

2千600万円を追加
総額2億9千138万6千円
内訳は、一般保険者療養給付費
2千万円、一般保険者高額療養費
600万円。

◆診療施設

157万1千円を追加
総額2億9千985万1千円
主なものは、会計年度任用職員
(看護師1名)の人件費と診療所
機械器具購入費。

◆介護保険事業

90万2千円を追加
総額2億4千766万3千円
内訳は、介護保険制度改正に伴
うシステム改修業務委託料。

◆簡易水道事業

41万円を追加
総額5千966万9千円
主なものは、竹原浄水場管理道
及び浄水場薬注ポンプ機の修繕料。

◆下水道事業

23万円を追加
総額3千491万9千円
主なものは、浄化センター修繕
及び公共下水道への新規接続に伴
う公共枿の整備。

条例制定

●災害避難住宅の設置及び管理に 関する条例制定

松之本に2棟4戸の住宅型避難
施設が整備され、条例が定められ
た。
①長期的避難をする場合、②単
発災害避難において感染症や疾病
等の個別隔離を要する一時利用、
③出水期以外の特別利用(有料)
等の区分
が定めら
れた。



災害避難住宅



住宅内台所

●村議会議員及び村長の選挙 における選挙運動の公営に 関する条例制定

公職選挙法の一部を改正す
る法律が公布されたことで、
議員選挙及び村長選挙におい
て①選挙運動用自動車、②選
挙用ビラ作成、③選挙運動用
ポスター作製の費用が選挙公
営の対象となる。

条例改正

●国民健康保険税条例の一部 改正

国民健康保険税の負担水準
に関して意図しない影響や不

利益が生じないように、軽減判
定基準の見直しと課税特別に
ついて規定するもの。

規約変更

情報公開・個人情報保護審
査会を共同設置する地方公共
団体の数の増加及び規約変更。
一ツ瀬川営農飲雑用水広域
水道企業団を加え規約を変更
する。

物品売買契約

診療所に軽量移動型デジタ
ルX線撮影装置購入
購入金額990万円
契約相手
(株)メディカル楯本



▶軽量移動型デジタルX線撮影装置

議案の採決結果

【第4回定例会】 ○全員賛成で可決した議案等

条例等	西米良村災害避難等住宅の設置及び管理に関する条例の制定
	西米良村議会議員及び西米良村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定
	西米良村国民健康保険税条例の一部改正
	情報公開・個人情報保護審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更
補正予算	一般会計(第7号)
	国民健康保険事業会計(第2号)
	診療所施設会計(第5号)
	介護保険事業会計(第2号)
	簡易水道事業会計(第2号)
	下水道事業会計(第2号)

第3回臨時議会

令和2年11月27日に臨時議会を開会し、次の議案について全会一致で承認・可決した。

◆専決処分した事件の承認

西米良村特別会計国民健康保険診療施設勘定会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ543万円を追加し、総額2億8601万8千円となった。

内容は、新型コロナウイルス感染症対策による、病棟及び仮設診療室で使用する簡易ベッド、ユニットハウス・トイレリース等である。



仮設診療室

◆条例改正

西米良村一般職の職員の給与

改正内容 賞与0.05月分引下げ

4.50月分→4.45月分

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費

改正内容 賞与0.05月分引下げ

3.40月分→3.35月分

議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当

改正内容 賞与0.05月分引下げ

3.40月分→3.35月分

◆診療施設勘定会計補正予算

西米良村特別会計国民健康保険診療施設勘定会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ1千226万2千円を追加し、総額2億9千828万円となった。

医療体制を確保するため、ポータブルX線撮影装置990万円、及び汚物除去機・乾燥機132万円等による購入費。

監査室より

今回は役場の各課毎に定期監査を実施していますので、監査が終了した課において評価される業務、指摘、改善を求めた主な業務等について公表いたします。

評価される業務

◆農林振興課

村有林で植林後50年前後の伐期をむかえた山林も多くなり、計画的な伐採計画を策定中とのこと。また、地籍調査については、今後、条件の悪い奥地調査未実施地については土地所有者とも協議し、航空測量の活用を国へ要望するなど各業務の積極的な取り組みは評価される。



地籍調査の状況

◆村民課

庁舎関係（役場庁舎・村所驛・診療所・保健センター）の電気料について、電力会社と交渉し、今年7月より料金の減額変更契約をして4か月で前年比で83万円余り低くなった。月平均21万円の減で、今年度内の減額は200万円余りと見込まれ、その対応は高く評価される。

指摘、指導改善を求めた業務

◆総務課

山村広場（大王広場）の駐車場に通信関係業者の現場事務所が設置されているが、現に村民が活用する施設の一部を災害等の特別な事情でもない中で、長期間このような貸し出しは適切ではないと思われる。トイレもあり電気の便も良く今後も同様の申込みがあると考えられるが、村民の利用に支障をきたすことがあってはならないし、何らかの問題が発生した場合の危機管理をも考慮した対応が必要である。

◆総務課

村内各地に多くの防火水槽が設置されているが、防火水槽の管理は十分なのか。村所の防火水槽の一部には落葉や土が堆積して草が生え取水口がわからない所がある。

近年火災は発生していないが油断は禁物で、いざという時に迅速な対応が出来るよう点検の必要がある。

代表監査委員 黒木正近
議選監査委員 瀆砂征夫

一般質問

白石幸喜 議員



避難所の環境整備を

▼
しっかりと
取り組んで
いく

近年、河川増水や土砂災害の危険性が高くなっており、本村でも7月豪雨や台風10号では大きな災害が発生した。それに伴い高齢者を中心に避難者が増えている状況である。そこで住民が第一避難場所としている各地区の避難所を、トイレ等プライバシーを考慮しあらゆる人が安心して避難で

きるユニバーサルデザインを取り入れた環境整備と断水や停電時に対応できる施設整備を進める考えはないか伺いたい。

村長 今年は大きな自然

災害を受けた年となったが消防団や各地区役員の皆様の協力により人命を失うことなく避難対応ができた。現在、村内の避難所は13箇所を指定している。台風10号では過去に類をみない大型台風として報道され多くの皆様に避難行動をとっていただいたところである。避難所についてはその施設の状況も異なるためすべてを一気に潤沢に快適な環境に整えることは難しいと思っているが、高齢者や小さなお子様のある家庭など言わば避難弱者

と呼ばれる人のために必要最低限度の機能の早急な整備と新型コロナウイルス感染症の対応ができるような避難所の設置にしっかりと取り組んでいく。

行事・イベントの 見直しを ▼ 改めるものは 改める

白石幸喜 令和2年はコ

ロナ禍により村内行事やイベント等の中止や延期、縮小した開催が余儀なくされ寂しい現状ではあったが、一方見詰め直す良機になったと感じる。各種行事やイベントは本村PRや経済効果に十分な効果があると承知して

いるが、人口減少と高齢化によるマンパワー不足は否めない。量的・質的に見直し、スリム化や効率化に取り組んでいく考えはないか伺いたい。

村長 時代の変遷とともに

その内容を変えていかなければならない。いいものは続ける。改めるものは改める。そして新たに増やすものは増やす。その選択を間違つてはいけないと思っている。観光協会はじめ地域や各団体が主催する行事・イベントが開催されており、それが多いというご意見があったのは事実である。そこでイキイキ祭と小学校の合同学習発表会をにしまらイキイキ文化祭として一緒に開催したり

をしてきたところである。かつて10年前20年前に村を背負っていた人たちが残念ながら参加できなくなってきた。その当時と同じことを今も同じ規模でやるといことは本当に見直すときにきていると思っている。今後原点に戻り、その意義や目的、必要性を再検証してウィズコロナ、アフターコロナ時代に適した事業の在り方を考えていきたい。一方、各地域や団体における自主的な取り組みについては今後も村としてしっかりと応援・支援を続けていく。



新人職員に 全世帯訪問研修を ▼ 地区担当の 「住民巡回の日」 等を検討する

の実態把握を目的とする。村民と新人職員両者の関係構築となる、「ファーストコンタクトの場」を世帯訪問によって行うことで、それ以降の日常業務にプラスになるのではと考える。研修導入の是非は。

をつくる機会が減っている。その為住民の生活の実態を知る機会も減っていると言っても過言ではない。住民の皆さんが役場に対して疎遠に感じられているのは十分理解できる。

敬老会等、年4〜5回は地区の人と触れ合う機会を大切にしているところである。現実になんかやらない。住民の皆様のご指摘がある以上は、あらゆる機会を捉えて、職場に派遣させる研修や米良弁の講座学等を行い米良に染まって好きにな

は。
【村長】西米良に初めて来られた人達に、しっかりと最初から手を差し伸べるシステム化がもたらされている。これから、新たな方策を考えていく。たとえば地区担当になったら、担当地区を1日かけて住民巡回の日とか、何か制度的にできないか検討していきたい。

新人職員による村内巡回研修導入について伺う。

研修導入の概要は、役場

新人職員と「つなぎ役」

が西米良村の全世帯を訪問する。ここでの「つなぎ役」は新人職員と村民

の仲介役となり得るような役場上司や区長・公民館長などが考えられる。

「つなぎ役」を介して職員と村民が顔を合わせる

ことや、村民の現状、村

の現状、村

【村長】新規に採用する職員については村外出身者が増えている。最近の職員に限らず、地縁・血縁のない者は、これまで

も地域とのコミュニケーションの第一歩を踏み出すのに大きなハードルがある。以前はあらゆる場面で懇談の機会も多く、互いに人となりを知りあうこともできたが、現在の

社会風潮のなかでは住民の皆様とのネットワーク

【村長】西米良に初めて来られた人達に、しっかりと最初から手を差し伸べるシステム化がもたらされている。これから、新たな方策を考えていく。たとえば地区担当になったら、担当地区を1日かけて住民巡回の日とか、何か制度的にできないか検討していきたい。

の時間的に不可能であるし、回ることが業務なのかという疑問も起こる。時間外に回れということになると、時間外手当と安全問題もあり、難しいのが現状である。現在は、職員8名から9名の各地

区担当班を配置し、地区総会や祭り、掃除検査や

【黒木竜二】敢えて全世帯を訪問するというところに、こだわりがあるのだが、コミュニケーション能力の不足した職員には、「つなぎ役」を介してその家に向いて自己紹介をすること、

【黒木竜二】村民と職員、文句ばかりでなくて、いい意見を出し合いながら未来につなげていくような日常生活であってほしいと考える。

【黒木竜二】職員8名から9名の各地

区担当班を配置し、地区総会や祭り、掃除検査や

【黒木竜二】職員8名から9名の各地

県に国道219号改良整備要望活動を行う

西米良村議会と西都市議会において国道219号改良整備要望活動を12月21日に宮崎県へ行いました。

要望内容は「西米良村越野尾から西都市瓢丹淵までの早期整備促進」及び「道路整備のための予算確保」であります。

支援者として黒木定藏村長と押川修一郎市長にもご同行いただき、宮崎県県土整備部の明利部長と宮崎県議会の丸山議長に要望書をお渡しいたしました。

コロナ禍で限られた要望活動でしたが、引き続き未改良区間の早期整備実現に向けて強く要望活動を行って参ります。



国道219号 道路改良工事 (小春バイパス、越野尾工区、越野尾二之渡工区)



ほっとコーナー



ほおずき提灯



西米良村商工会では、毎年会員の親睦を図るため会員レクリエーションを開催されています。

今年度は11月14日に村所驛にて約30名で106個のほおずき提灯を作られたそうです。

昨年度と今年度に作られたほおずき提灯は村所驛や商店街、作成に参加された事業所等で飾られています。

イルミネーションとほおずき提灯の灯す明かりを見ながらコロナ禍を乗り切りましょう。



編集後記

新年あけましておめでとう
ございます。

干支でいくと今年は丑年です。民話では背中に乗っていたネズミにゴール直前で先を越されたウシですが、忍耐強く何事もじっくり考え成果を上げるそうです。本年が穏やかな年となりますよう祈念申し上げます、さらに村民の皆さんに親しまれる議会広報を目指していきます。(こうき)



議会広報常任委員会

- 委員長 児玉 義和
- 副委員長 黒木 竜二
- 委員 白石 幸喜
- 上米良 玲